

ながさきTIMES

長崎で行われたホットなイベントや
市政の動きを紹介！

8/15 (月)

お盆の伝統行事
精霊流しで故人を弔う

新型コロナの感染対策をしながら精霊流しが行われました。あいにくの雨でしたが、大量の爆竹の音を響かせながら船をひいて街中を練り歩き、故人の霊を送り出していました。昨年9月に亡くなった郷土史家で長崎市栄誉市民の越中哲也氏も地域のかたや親族に見守られながら送られました。



8/25 (木) 福地茂雄氏プロデュース
自分新化講座を開催

日本アイ・ビー・エム（株）取締役副社長の福地敏行氏が「ダイバーシティ & インクルージョン」をテーマに講演。誰もが自然体で持てる力を100%発揮できる環境づくりが大切だと語りました。



8/29 (月) 世界初! ゆうこうを使った
クラフトチューハイ

宝酒造（株）が市内産の果実を使った新商品「^{たから}CRAFT」<長崎ゆうこう>を九州・沖縄限定で新発売することを、市長に報告しました。ゆうこうは土井首地区や外海地区などに自生している柑橘です。ゆうこうの甘みのあるまろやかな酸味とさわやかな香りを楽しめるクラフトチューハイです。



8/17 (水) 西町小学校西校舎お別れの集い 校舎に感謝のメッセージを落書き!



西町校区コミュニティ連絡協議会や地域の協力で、市育成協西町支部が老朽化のため37年の歴史に幕を閉じる西校舎とのお別れの集いを開催し、在校生や卒業生が集まりました。子どもたちは教室の壁や床などに感謝の気持ちを書いたり、豪快な落書きをしながら思い出を振り返っていました。



8/25 (木) ALTと楽しく英語で 平和を学ぶ特別授業

小江原中学校の3年生が5人のALT（外国語指導助手）と英語で話しながら、平和について学びました。生徒たちはクイズやプレゼンテーションを通して、身近なところから平和について考え、英語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを実感したり、学習の成果を試したりすることができました。

9月~11月 平和の文化キャンペーン が始まりました

キャンペーン事業の一環として、原爆資料館では11月16日⑩まで「平和の文化紹介パネル展示」を開催。プロの写真家の指導のもと若者が被爆者取材した「被爆者のいまを伝えよう フォトグラファー体験事業」や、被爆して変形した瓶を波佐見焼で再現した「祈りの花瓶」を展示しています。



9/3 (土) 夜の中島川から見上げる 長崎のまちなみ

夜の長崎を盛り上げるナイトタイムエコノミー推進事業の一環でナイトサップツアーが開催されました。参加者は夜の中島川を眼鏡橋付近から河口まで回遊しながら長崎の歴史と文化を学び、めったに見られない川からの風景を楽しんでいました。

